

項目	内容
名称	ペポカボチャ [英]Pumpkin、Marrow、Courgette、Vegetable Marrow [学名]Cucurbita pepo L.
概要	<p>ペポカボチャはアメリカ原産のウリ科の一年草。焙った種子をスナック菓子として食することがあるほか、種子油抽出物がサプリメントなどに利用される。また、ペポカボチャの一種であるズッキーニ、そうめんかぼちゃは果実を食用とする。</p> 
法規・制度	<p>■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・カロテノイド類 (ルテイン、カロテン、β-カロテンなど)、ククルビチン (cucurbitin) などを含む (101)。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ・果皮、果肉、種子中の成分をGC/MS法にて分析した報告がある (PMID:20603772)。 ・果実中のククルビタントリテルペノイド類をNMRにて同定した報告がある (PMID:18325551)。

有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	
ヒトでの評価	<p>RCT</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前立腺肥大症患者53名(試験群26名、平均62.0±6.7歳、スウェーデン)を対象とした二重盲検プラセボ対照試験において、ペポカボチャ種子油抽出物およびノコギリヤシ抽出物を含む製品(カルビシン160 mg/日含有)×2錠×3回/日、3ヶ月間摂取させたところ、尿量、排尿時間、残尿量、排尿回数、症状の主観的評価が改善した (PMID:1702340)。 ・前立腺肥大症患者44名(試験群21名、平均65.1±8.1歳、アメリカ)を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、ペポカボチャ種子油抽出物160 mg、ノコギリヤシ抽出物106 mg、セイヨウイラクサ根抽出物80 mg、レモンフラボノイド抽出物33 mg、β-カロテン190 IU含有カプセルを1日3回、6ヶ月間摂取させたところ、前立腺肥大症の症状に影響は認められなかった (PMID:10751856)。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (58) The Complete German Commission E Monographs (76) 日本食品大事典 医歯薬出版株式会社 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (101) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition, Thomson. (PMID:20603772) Nat Prod Res. 2011 Sep;25(16):1524-39. (PMID:18325551) Phytochemistry. 2008 Apr;69(6):1434-8. (PMID:19211433) Trop Doct. 2009 Jan;39(1):54-5. (PMID:22031478) Clin Med Res. 2012 May;10(2):75-7. (PMID:19796220) Allergy. 2010 Jan;65(1):136-7. (PMID:10932084) J Allergy Clin Immunol. 2000 Aug;106(2):379-85. (PMID:1702340) Br J Urol. 1990 Dec;66(6):639-41. (PMID:10751856) J Urol. 2000 May;163(5):1451-6. (PMID:23101191) J Investig Allergol Clin Immunol. 2012;22(6):441-2.k (PMID:17362260) Allergy. 2007 Apr;62(4):452-3. (PMID:20143656) Ann Allergy Asthma Immunol. 2010 Jan;104(1):98-9.</p>